

# 県政活動報告書



**みんなの声を県政へ**  
茨城県議会議員

きよし  
**とつか 潔**



**「人が輝くまちづくり」に全力で取り組んでいます！**

皆様方には平素より外塚潔の県政活動につきまして、多大なるご支援とご協力をいただき誠に有難うございます。日頃、外塚潔に対し賜りましたご厚情に深く御礼申し上げます。

昨年は、総務企画委員会副委員長、環境保全対策調査特別委員会委員として、本県の魅力を県内外に広く伝え、県民が誇りを持てる郷土づくりを図るため、効果的なPR手段や、豊かな地域資源と暮らしやすさを併せ持つ魅力をさらに向上させるための取り組みについて調査活動をおこなってまいりました。

更に、環境保全対策調査特別委員会では、本県に係る環境問題への対策を中心に、今年で11年目を迎えた森林湖沼環境税の在り方や10月15日から開催する第17回世界湖沼会議で取り組むべき事項などについて議論を重ねてまいりました。特に、環境対策と県民等への意識啓発や生物多様性に関する教育・学習などを推進し、これに係る学習活動等を担うことができる人材育成の充実を図ることなどを議論しました。

本年は、**文教警察委員会、情報委員会委員**として活動に取り組んでおります。

今年の文教警察委員会は教育庁と県警察の2つに加え来年秋に開催される「いきいき茨城夢国体・ゆめ大会」を成功させる為に調査活動を行っております。

教育庁では『一人一人が輝く教育立県を目指して【子どもたちの自主性・自立性を育もう】』を基本テーマに掲げ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスの取れた子どもたちの育成を図っております。

県警察本部は『**安心安全を実感出来る‘いばらき’の確立【県民の期待と信頼に応える強い警察】**』を警察運営重点として、「犯罪被害の予防・検挙の為の機敏で能動的な対応」「飲酒運転の根絶と交通安全対策の実施」「新たな

時代に対応する基盤の整備(街頭防犯カメラ・大規模災害・テロ対策)」等各々の対策に取り組んでおります。平成30年の本委員会は重要審査テーマとして、教育長関係では「子どもたちの【社会を生き抜く力】の育成」について、警察本部関係は「**飲酒運転の根絶と高齢者の交通事故抑止対策**」について、各々の審査テーマを中心に県の取り組むべき施策について検討するとともに、その他所管事項についても調査活動を行って参ります。

また、情報委員会では、年間4回発行される「**茨城県議会だより**」の編集と情報開示請求の審査を行っております。今年から新しい試みとして、**点字版茨城県議会だより**を数に限りがありますが発行することになりました。多くの県民の皆様が議会活動を理解していただき、更にご質問やご意見を受け「議会の改革」に努めて参ります。

本年は私自身の2期目、**集大成の年**であります。今後も霞ヶ浦を活かした地域の活性化、農林水産業の振興、子どもから高齢者まで安全安心な生活環境の充実、市内県道の歩道未整備箇所の解消と霞ヶ浦湖岸堤防強化整備工事などをしっかりと進めて参ります。

平成30年第2回定例会で、通算6回目の一般質問を行いました。

今回の内容も「みんなの声を県政に」という初心に沿い「人が輝くまちづくり」を実現するための事項を掲げました。

県政発展のため全力で取り組んでおりますが、初志貫徹、目標達成のためには、皆様方のさらなるご支援とご協力が必要でございます。今後もみんなの声を県政に届け、確実に成果を上げるべく活動してまいりますので、皆様方には、倍旧のご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



茨城県議会議員 外塚 潔

平成30年第2回定例会一般質問

(平成30年6月8日)

● 一般質問の録画は以下のサイトからご覧になれます。

茨城県議会・インターネット中継 <http://www.ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>

1. 世界湖沼会議における新たな「霞ヶ浦宣言」の発信について



外塚議員質問

平成7年の第6回会議では、住民、研究者、企業、行政の四者パートナーシップ構築や、環境教育の重要性などを踏まえた霞ヶ浦宣言が提言されたが、現在、その成果が活かされているのか、主体性に欠ける県の活動に疑問を感じる。

霞ヶ浦流域の全ての方が持続可能な生態系サービスを楽しむためには、流域連携が不可欠であり、そのためには県の強いリーダーシップや、拠点となる霞ヶ浦環境科学センターの機能強化が必要である。第17回世界湖沼会議で、本県がどのようなメッセージを国内外に発信するのか注目される中、県が果たすべき役割をしっかりと認識し、様々な意見を取り入れて、新たな「霞ヶ浦宣言」をより良いものにしていくべきと考えるが、知事の所見を伺う。



大井川和彦知事答弁

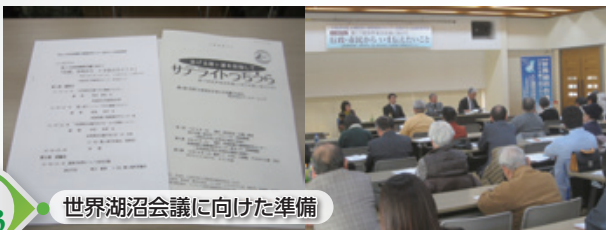


今回の世界湖沼会議においては、流域内及び流域間連携を推進するための「湖沼セッション」や「霞ヶ浦セッション」を行うとともに、政策フォーラムにおいて、霞ヶ浦の浄化を進めていくための生活排水対策や農地・畜産対策、環境学習、調査研究などについて県の考えを発信していく。それらの成果に、市民団体等や学生会議の意見も反映させて「いばらき霞ヶ浦宣言」として取りまとめ、世界の湖沼環境問題の解決に向けた考え方をアピールしていく。霞ヶ浦環境科学センターの役割についても、自然環境のみならず歴史や文化、さらには観光をも含めた、人が集まる情報発信の拠点としての機能強化を検討していく。

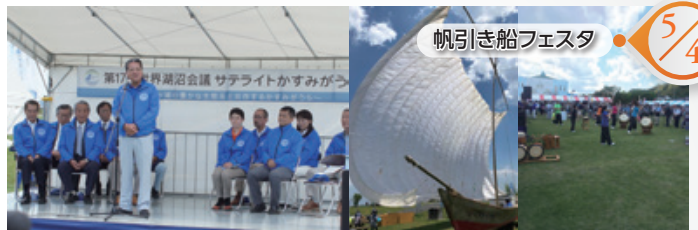


▲7月16日第17回世界湖沼会議イベントハイスクール会議調査活動（霞ヶ浦について土浦日大高校等6校の高校生が激論を交わした）

第17回世界湖沼会議サテライト会場調査活動



世界湖沼会議に向けた準備



帆引き船フェスタ



あゆみ祭り



泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル



## 2. 霞ヶ浦の帆引き船を活用した観光誘客について



### 外塚議員質問

帆引き船は、霞ヶ浦を象徴するものとして、パンフレット等様々な場面で活用されてきたが、今般、「霞ヶ浦の帆引網漁技術」が保存すべき貴重な無形文化財として国のお墨付きを受け、観光資源としての注目度や価値も大きく高まることが期待される。県では**新たな観光戦略を掲げ、観光客増に向けた取り組みを進める中**、帆引き船を霞ヶ浦周辺観光の目玉として大いに活用すべきと考えるが、所見を伺う。



### 営業戦略部長答弁

国の選択を踏まえ、ホームページやSNSを活用し戦略的・集中的にPRしていくとともに、3市合同操業による「七色帆引き船」や、**かすみがうら市で12月に予定される「月夜の帆引き船ライトアップ操業」**など誘客力の高いものを活用し、大手旅行会社とのタイアップや観光キャンペーン、海外の旅行博などで広くPRし、帆引き船の魅力を国内外に発信していく。さらに、**地元市町村と連携し、帆引き船とパラセーリング、湖岸沿いのバーベキューなどを組み合わせた体験プログラムの提供**を働きかけていく。県としても、帆引き船を霞ヶ浦周辺観光の目玉の一つとして活用し、観光誘客に取り組んでいく。



## 3. 冷凍技術を活用した霞ヶ浦水産資源の販路拡大について



### 外塚議員質問

霞ヶ浦の養殖鯉の洗いや鯉こくなどは大変美味であるが、骨切り加工など調理に一定の技量が必要なため、地元での流通量が限られていた。今般、地元漁業関係者などが連携し、冷凍技術を使った養殖鯉の商品化が進められ、保存可能で、かつ容易に調理ができる**鯉の冷凍パックが開発**された。今後、**ブランド化や販路拡大**にどう取り組んでいくのか。

また、シラウオやワカサギは鮮度を保って市場に出荷することが難しく、漁業関係者の安定した収益につながっていない。**製氷施設を活用し、新鮮な状態で消費者に提供**することができれば、**品質や付加価値を高める**ことが可能となり漁業関係者の経営安定化にもつながる。今後、どのように取り組んでいくのか。



▲1月22日ワカサギ孵化事業調査活動

### 農林水産部長答弁

新たに開発した鯉の真空凍結品の安定的な製造体制づくりを進めるとともに、**小売業や外食産業等のバイヤーを対象とした商談会への出展支援、量販店等への営業活動支援、製品のセールスポイントを情報発信**するなど、**販路拡大を支援**していく。

また、シラウオ、ワカサギについては、高品質な鮮魚での安定供給のため、船上での保冷方法を漁業者に周知し、製氷施設の活用も働きかけていく。特にシラウオは、生食用凍結品が製造できるよう、**船上での鮮度管理や凍結技術の開発**など、高鮮度のシラウオを安定供給する研究に取り組むとともに、販路拡大を支援し、**霞ヶ浦北浦漁業の経営改善**を図っていく。



▶1月22日ワカサギ孵化事業調査活動

## 4. 儲かる農業に向けた取り組みについて



### 外塚議員質問

ふくまるや恵水、霞ヶ浦周辺のレンコンなど、新たなブランド農産物の開発や、それらを活用した日本酒など加工食品の開発支援は、農家の収益向上のために大切であり、加えて重要なことはそれらをどう売っていくかである。県では組織を改正し、県産農林水産物のブランド強化などを担ってきた販売流通課を、新設された営業戦略部に組み込んだが、営業部門と生産部門に分けたことは、需要を開拓し必要なロットを生産するという、民間的発想に立った大きな方向転換であると考えている。今後、県産農林水産物の販路拡大にどう取り組んでいくのか。



### 営業戦略部長答弁

農産物のブランド力強化では、高級品としてのイメージ定着を進めるほか、6次産業化等による加工品製造に取り組む。販路については、新たな需要拡大のため知事によるトップセールスや海外輸出等に挑戦するとともに、百貨店等への営業活動で得られた消費者ニーズを産地の作付け計画に反映していく。営業戦略部が設置されたことにより、職員は新たな発想で情報発信や販路拡大等に取り組み、誰もが営業マンとして、現場主義、コスト意識を持ち、意識改革の徹底を図り、ブランド力強化や商品開発、販路拡大を進め、儲かる農業に向けて全力で取り組んでいく。



▲2月22日大吟醸酒ふくまる発表会

## 5. イノシシ等鳥獣被害対策について



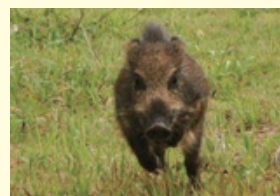
### 外塚議員質問

霞ヶ浦周辺地域は、レンコンを狙ったカモやバンなど鳥類による食害が大きな被害を及ぼしており、産学官連携による対策の検討も進められている。そのような中、イノシシの生息域が拡大しつつあり、更なる農業被害が懸念されている。新たにイノシシが出没するようになった地域では、対策も後手に回るおそれもあり、県が主導し、周辺自治体による一体的な駆除対策が望まれる。イノシシ等の鳥獣被害対策として条例が制定されたが、今後、どのような対策に取り組んでいくのか。



### 農林水産部長答弁

新たな条例制定を踏まえ、今年度、市町村等に対し農地周辺の緩衝帯整備への助成を行うとともに、侵入防止施設の設置や、イノシシの捕獲活動への予算を拡大したほか、新たに若手を対象とした狩猟者確保セミナーを開催する。さらに県が主体となり、ICTを活用した遠隔操作可能な罠を導入し、捕獲の効率性を検証するモデル事業を実施していく。また、関係市町村等が一体となった効果的な取り組みを進めるため、先進的な防止対策の情報共有や、集中的捕獲活動の実施など、連携した被害防止対策を推進していく。これらの取り組みにより、鳥獣による農作物被害の拡大防止に努めていく。

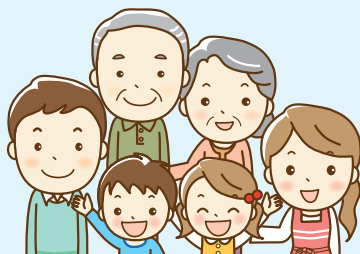


## 6. 県南地域における重症心身障害児の入所施設について



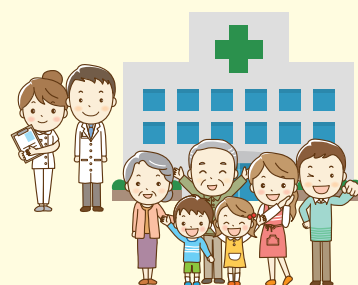
### 外塚議員質問

在宅で医療的ケアを伴う介護を受けている方が、**短期入所ができる施設は県内に9箇所しかなく、県南在住の方が簡単に入所できる状況ではない。**困っている方が多くいる中、行政として何らかの手立てを考えなくてはならない。県では、医療機関や事業者が短期入所施設の開設を働きかけているが、それだけでなく、国で定める障害福祉サービス報酬に県が上乗せするなど、インセンティブを与えて**施設拡充を誘導する施策も必要**と考えるが、所見を伺う。



### 保健福祉部福祉担当部長答弁

医療型短期入所の開設経費の助成などにより、**新規開設や定員増に努めるとともに、**庁内の協議の場に市町村や医療機関などを加え、開設への支援策を検討していく。また、新たに常勤看護師を配置することで福祉型短期入所でも医療的ケアの必要な方を受け入れられることとなったことから、**制度の周知と導入**を事業者に働きかけていく。これらの取り組みを通じて、重症心身障害児や**家族が地域で安心して暮らせるよう、短期入所施設の拡充に努めていく。**



## 7. 保育人材確保に向けた県の役割について



### 外塚議員質問

保育所などが増加する一方、**施設があっても保育士の確保ができず、子どもを受け入れることができない状況**があると聞いており、なかなか**待機児童の解消に至らない。**市町村独自の補助など保育士確保の施策が行われる中、財政力が劣り取り組みが遅れる自治体では、ますます保育士確保が難しくなる。**新たに保育人材バンクが設置されたが、この仕組みを活用し、県内均衡ある子育て環境が整備されるよう、県が主導していくべきと考えるが、所見を伺う。**



▲3月31日かすみがうら市内保育園調査活動

### 保健福祉部福祉担当部長答弁

県では今年度から人材派遣や有料職業紹介等に実績を有する民間事業者に委託し、そのノウハウを活用した「いばらき保育人材バンク」を設置したところであり、資格を有しながら働いていない**潜在保育士の再就職や就業継続の支援を強化**していく。また、**保育士の処遇改善**については、**地域が独自に財政負担を行う必要のない給与水準**となるよう、国に対し強く働きかけていくなど、県全体において子育て環境が充実されるよう取り組んでいく。



## 8. 県公用車へのドライブレコーダー設置について



### 外塚議員質問

毎定例会のように交通事故の和解案件が報告される中、県職員の安全意識向上などのためにも、公用車へのドライブレコーダー設置が必要と考えている。社会情勢の変化等を踏まえ、全国的に導入する都道府県も増えてきているが、本県でもまずは総務部管理の公用車について試験的にドライブレコーダーを設置し、その有効性について実証するなどの取り組みも必要と考えるが、所見を伺う。



### 総務部長答弁

ドライブレコーダーを公用車へ設置する都道府県は増加傾向にあり、事故発生時の対応に有効であったとの話がある一方、職員の安全運転意識向上などの効果はまだ十分検証されていないとの話も聞いている。そこで、試験的に総務部所管の共用自動車の一部へドライブレコーダーを設置し、録画された情報の適切な管理を行いながら、職員の交通安全意識の向上に向けた具体的な効果の有無について検証を進めていく。



### 完了 沖ノ内整備2期工事完了



### 完了 国道354 西成井交差点右折信号設置工事完了



### 完了 つくば千代田線歩道表示整備完了



### 完了 要望してきた警察車両に英語表示が始まる



## 9. 国道354号の整備について

### (1) 抜本的な道路構造改良の必要性



#### 外塚議員質問

国道354号線は、県道として整備され、国道となった経緯があるが、近年、当初見込んでいた交通量を大幅に上回る車が通っており、鹿島港から荷物を積んだ大型車が県西方面に大量に行きかい、道路損傷が激しい。今後どのように354号を維持していくのか。対症的な補修で凌ぐのか、抜本的に構造を改良する必要があるのか、費用対効果を含めて検討すべきと考えるが、所見を伺う。



傷んだ道



国道354深谷地区内  
道路補修完了

### (2) 4車線化に向けた取り組み



#### 外塚議員質問

鹿島方面からの交通量が増大する中、国道354号は、土浦からだけでなく、霞ヶ浦大橋側からの4車線化整備による、輸送力強化が必要である。また、霞ヶ浦大橋は物流の生命線であり、救急医療の面でも重要な橋梁である。非常時に備える上でも、霞ヶ浦大橋を含めた国道354号の4車線化について、中長期的な視点に立った検討を始めてもよいのではないかと考えるが、所見を伺う。

#### 土木部長答弁

国道354号のうち、かすみがうら市内の区間は、近年大型車交通量が増加し、劣化や損傷が進んでいる箇所があることから、約4kmの区間について、舗装だけではなく、その下の砕石部分までを改良する抜本的な修繕工事を進めていく。これまで約2.4kmの修繕を行い、今年度以降も順次工事を実施していく。引き続き点検調査を進め、損傷の程度に応じた最適な工法による修繕を行うことにより、メンテナンスサイクルの構築を図りながら、効率的・効果的に維持管理を行い、道路の安全の確保や走行性の改善を図っていく。



国道354加茂交差点  
拡幅工事完了

#### 土木部長答弁

国道354号のかすみがうら市から土浦市までの区間は、土浦協同病院の移転や、鹿島港からの飼料貨物の増大などに伴い交通量が増加しており、今後、東関道水戸線の全線開通や鹿島港の貨物量の増加等、さらなる交通状況の変化が想定される。本路線が災害時における緊急輸送道路であることも念頭に置きつつ、今後の交通量の推移等を踏まえた交通需要を予測しながら、霞ヶ浦大橋やかすみがうら市内における国道354号の4車線化の必要性も含め、将来の広域的な道路ネットワークを検討していく。



# 2018年 活動報告



1月5日 交通安全四団体と立哨啓発活動調査活動



1月13日 朝のあいさつ運動調査活動



1月30日 国道354バイパス要望活動



2月3日 市内マラソン大会  
・県民健康調査活動



2月8日 霞ヶ浦二橋建設促進活動



2月22日 恋瀬川高倉地区整備工事  
地区説明会調査活動



3月14日 国体・障害者スポーツ大会の  
準備状況について大会局長に問う



3月14日 文教警察委員会にて教育長より教育現場の説明を問う



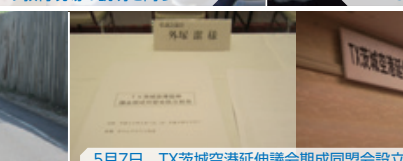
3月29日 サイクリング環境整備調査活動



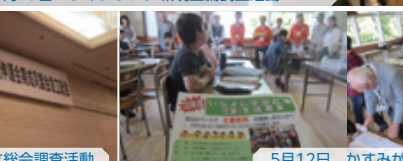
5月1日 逆西2区要望調査活動



5月5日 輪浜道路調査活動  
(幅員まで舗装路を整備)



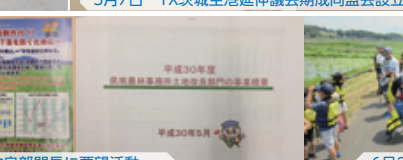
5月7日 TX茨城空港延伸協議会期成同盟会設立総会調査活動



5月12日 かすみがうら市内の学習支援団体を調査活動



5月22日 県南農林事務所土地改良部門長に要望活動



6月2日 子供たちと霞ヶ浦湖畔にて野鳥調査活動



6月2日 自然再生地区にて観察路調査活動



6月12日 県民が安全安心を実感できる活動について  
警察本部長に問う



6月13日 りんりんロードの拡幅工事調査活動



6月20日 霞ヶ浦広域バス  
新型車両導入記念調査活動



6月21日 県立歴史館調査活動



6月21日 弘道館調査活動



6月21日 国体準備中の笠松運動公園を調査



6月30日 薬物乱用防止  
キャンペーン活動調査



7月 甲子園2年連続出場校調査活動



7月6日 守谷市内小中学校にタブレット2000台配置



デジタル黒板で学習中



7月9日 霞ヶ浦北浦治水水環境調査活動



7月13日 神立駅で街頭キャンペーン調査活動



7月14日 地元夏祭り調査活動



7月18日 九州陶磁文化館にて調査活動



7月19日 福岡県教育委員会にて調査活動



7月19日 福岡県立図書館調査活動



7月20日 九州国立博物館調査活動



7月20日 福岡県アクション福岡の施設運営調査活動



8月5日 県議会議事堂にてハイスクール議会調査活動



発行 / 茨城県議会議員 外塚 潔  
〒315-0055 かすみがうら市稲吉南3-14-20  
mail:totsuka.kiyoshi@poplar.ocn.ne.jp  
<http://www.totsuka-kiyoshi.net>  
TEL 029-831-6880 FAX 029-831-6882

